

大正十三年七月西部交通労働同盟が一大爭議を惹起して彼の高野山上に於て解体式を挙げて以来関西西に於ける交通労働の運動は非常なる打撃を蒙り微々として振ひあがりしを以て其復活と發展を圖るべく交通労働総聯盟の計画を立て今年十一月大阪に於て東京市電自治會、大阪交通労働組合、京都市電向上會の三組合により日本交通労働聯盟の假令創立大會を擧ぎ、宣言、綱領、規約を決定し其の後着々として歩を進め大正十四年五月北海道の函館水電交誼會、左九月山陰交通労働組合及び浪花海負同志會、本年四月横浜市電共和會の加盟により漸次發展の勢を著すに至つた。

右七組合中、京都市電向上會、山陰交通労働組合、浪花海負同志會の三組合は始ると有名無実の狀態にあるも東京市電自治會は郊外電線をも全部糾合し組合員約一萬三千を突破するの勢を見せ居る(備考)。大阪市電自治會は創立を以て於て一つの研究団体ありしも漸次健全なる發展を遂げ本年三月廿九日の大會に於て純然たる労働組合となつた。